2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　株式会社 共和電業　　上場取引所　東
コード番号　6853　URL https://www.kyowa-ei.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 下住晃平
問合せ先責任者　(役職名) 取締役上席執行役員経営戦略本部長　(氏名) 上杉太郎　TEL 042-489-7215

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	10,660	△8.3	242	△72.9	312	△66.3	342	△49.3
2025年12月期第3四半期	11,622	4.4	896	1.6	927	△1.6	676	3.2

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　1,001百万円　(21.2%)　2025年12月期第3四半期　826百万円　(27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	13.61	―
2025年12月期第3四半期	25.49	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第3四半期	23,980	18,271	76.2	731.57
2025年12月期	23,744	18,214	76.7	714.99

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期　18,271百万円　2025年12月期　18,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	10.00	―	11.00	21.00
2026年12月期	―	10.50	―		
2026年12月期(予想)				10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	△4.7	800	△42.3	900	△38.3	800	△22.6	31.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期3Q	25,961,100 株	2025年12月期	25,961,100 株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	985,863 株	2025年12月期	485,500 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期3Q	25,200,081 株	2025年12月期3Q	26,550,593 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手された情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。業績に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……8
（継続企業の前提に関する注記） ……8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……8
（セグメント情報等） ……8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が総じて好調を維持する中、雇用や所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰や物価上昇の長期化による消費者マインドの下振れに加え、米国における今後の通商政策の不確実性や、国内外の金融資本市場の変動、さらには深刻化する人手不足など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社顧客におきましては、全体としての設備投資意欲は継続して底堅いと見られるものの、一部顧客では、投資繰延べの動きが見られる等、企業により景況感はまだら模様となっております。

このような事業環境の中、当社は中期経営計画「KYOWA Vision 2027」の２年目として、基本方針である「既存分野の深耕とサービスの拡充・創出により持続的な事業の成長を目指す」「収益力の向上と資本効率の改善により企業価値向上を目指す」の実現に向けた基本戦略に基づく重点施策の着実な実行により、持続的な成長と企業価値向上を推進しております。その一環として、当社の連結子会社である株式会社山形共和電業、株式会社甲府共和電業、株式会社共和サービスセンターを吸収合併することに関し、2026年７月27日開催の取締役会決議に基づき４社間の基本合意書を締結したのち、2026年10月26日開催の取締役会において吸収合併を決議いたしました。当該合併により、調達、生産、設計・開発およびアフターサービスに至るバリューチェーンの密接な連携によるシナジー効果を創出するとともに、経営リソースの最適配分による経営効率および資本効率の向上と組織の一体化によるガバナンスの強化を同時に実現し、グループ全体の持続的な企業価値向上を目指してまいります。

当第３四半期連結累計期間における受注高は、交通インフラ、エネルギー等の事業分野が好調に推移し、13,975百万円（前期比14.9%増）となりました。

売上高は、自動車試験分野が販売増となったものの、前期にあったダムおよび防衛関連での大口案件による反動減に加え、経営基盤の強化および業務プロセスの最適化・効率化を目的として、新たに導入した基幹システムの稼働移行期における一時的な生産遅延の影響もあり、10,660百万円（前期比8.3%減）となりました。

利益につきましては、材料費高騰による原価率上昇および販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は242百万円(前期比72.9%減)、経常利益は312百万円(前期比66.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、342百万円(前期比49.3%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測機器セグメント

計測機器セグメントは、汎用品が生産遅延に伴う影響により、売上高は4,511百万円(前期比9.3%減)となりました。特注・システム品は大口案件の減少により、売上高は3,025百万円(前期比16.7%減)となりました。保守・修理部門は堅調に推移し、売上高は962百万円(前期比7.6%増)となりました。

以上、その他を含め計測機器セグメント売上高は9,718百万円(前期比8.8%減)、セグメント利益（売上総利益）は、3,551百万円（前期比10.4%減）となりました。

②コンサルティングセグメント

コンサルティングセグメントは、各種計測業務の減少により、売上高は942百万円（前期比2.1%減）、セグメント利益（売上総利益）は413百万円(前期比14.1%減)となりました。

a.セグメント別受注状況

（単位：千円）

項目	前第３四半期連結累計期間 自　2025年１月１日 至　2025年９月30日		当第３四半期連結累計期間 自　2026年１月１日 至　2026年９月30日		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
計測機器	11,165,950	5,580,298	12,969,034	7,930,900	1,803,084	2,350,602
コンサルティング	998,768	422,047	1,006,398	435,354	7,630	13,307
合計	12,164,718	6,002,346	13,975,432	8,366,254	1,810,714	2,363,908

b.セグメント別売上状況

（単位：千円）

項目	前第３四半期連結累計期間 自　2025年１月１日 至　2025年９月30日		当第３四半期連結累計期間 自　2026年１月１日 至　2026年９月30日		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
計測機器	10,659,999	91.7%	9,718,137	91.2%	△941,861	△8.8%
コンサルティング	962,876	8.3%	942,711	8.8%	△20,164	△2.1%
合計	11,622,875	100.0%	10,660,849	100.0%	△962,026	△8.3%

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は23,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円の増加となりました。

流動資産は14,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,203百万円の減少となりました。その主な要因は、棚卸資産が1,027百万円増加した一方で、現金及び預金が589百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,978百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は9,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,439百万円の増加となりました。その主な要因は、投資有価証券が1,044百万円増加したことによるものであります。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は5,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円の増加となりました。

流動負債は3,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金が448百万円増加した一方で、未払法人税等が198百万円、その他に含まれる預り消費税が167百万円、預り金が139百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ248百万円の増加となりました。その主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が209百万円増加したことによるものであります。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は18,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が202百万円減少し自己株式が431百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が668百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の実績および現時点における見通しを勘案した結果、2026年２月９日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,325,500	3,735,868
受取手形、売掛金及び契約資産	5,291,817	3,313,082
有価証券	32,769	33,547
商品及び製品	1,410,887	1,311,019
仕掛品	1,515,658	2,409,609
未成工事支出金	83,510	85,915
原材料及び貯蔵品	2,643,894	2,874,971
その他	154,666	490,738
流動資産合計	15,458,704	14,254,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,169,899	2,074,786
その他（純額）	2,026,866	2,268,526
有形固定資産合計	4,196,766	4,343,312
無形固定資産	692,063	801,808
投資その他の資産		
投資有価証券	2,076,815	3,121,015
その他	1,320,090	1,459,213
投資その他の資産合計	3,396,906	4,580,229
固定資産合計	8,285,735	9,725,350
資産合計	23,744,440	23,980,102
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,291	1,142,111
短期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	267,959	69,149
賞与引当金	196,627	644,708
役員賞与引当金	22,550	17,541
執行役員賞与引当金	5,011	3,870
その他	1,728,301	1,443,840
流動負債合計	3,790,740	3,721,220
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,466	18,472
退職給付に係る負債	1,356,096	1,390,147
資産除去債務	71,415	71,685
その他	296,848	507,377
固定負債合計	1,738,827	1,987,682
負債合計	5,529,568	5,708,902

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,723,992	1,723,992
資本剰余金	1,759,161	1,790,538
利益剰余金	13,490,413	13,288,060
自己株式	△247,636	△679,008
株主資本合計	16,725,929	16,123,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	990,612	1,659,461
為替換算調整勘定	214,671	224,471
退職給付に係る調整累計額	283,658	263,684
その他の包括利益累計額合計	1,488,942	2,147,617
純資産合計	18,214,872	18,271,199
負債純資産合計	23,744,440	23,980,102

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	11,622,875	10,660,849
売上原価	7,177,921	6,696,372
売上総利益	4,444,953	3,964,476
販売費及び一般管理費	3,548,759	3,721,699
営業利益	896,193	242,777
営業外収益		
受取利息	10,820	10,455
受取配当金	44,048	47,933
その他	23,995	31,514
営業外収益合計	78,864	89,902
営業外費用		
支払利息	5,833	6,653
コミットメントフィー	3,889	3,889
為替差損	27,268	2,991
その他	10,433	6,248
営業外費用合計	47,425	19,783
経常利益	927,632	312,895
特別利益		
投資有価証券売却益	69,144	199,408
特別利益合計	69,144	199,408
税金等調整前四半期純利益	996,777	512,304
法人税、住民税及び事業税	385,074	271,134
法人税等調整額	△64,987	△101,747
法人税等合計	320,087	169,386
四半期純利益	676,690	342,917
親会社株主に帰属する四半期純利益	676,690	342,917

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	676,690	342,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,420	668,848
為替換算調整勘定	△25,366	9,799
退職給付に係る調整額	3,734	△19,973
その他の包括利益合計	149,789	658,674
四半期包括利益	826,479	1,001,592
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	826,479	1,001,592

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年12月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式768千株の取得を行っております。この結果、当第３四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取により取得した株式数を含め自己株式が431,371千円増加しております。

(自己株式の処分)

当社は、2026年１月26日開催の取締役会決議に基づき、2026年６月１日付で当社および当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式241千株の処分を行っております。この結果、当第３四半期連結累計期間において、資本剰余金が28,197千円増加し、自己株式が152,794千円減少しております。

また、2026年３月26日開催の取締役会決議に基づき、2026年４月24日付で当社の取締役および取締役を兼務しない執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式27千株の処分を行っております。この結果、当第３四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,180千円増加し、自己株式が17,007千円減少しております。

この結果、当第３四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,790,538千円、自己株式が679,008千円となっております。

(セグメント情報等)

Ⅰ．前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	計測機器	コンサルティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,659,999	962,876	11,622,875	―	11,622,875
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,659,999	962,876	11,622,875	―	11,622,875
セグメント利益	3,963,898	481,055	4,444,953	―	4,444,953

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ．当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	計測機器	コンサルティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,718,137	942,711	10,660,849	―	10,660,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	9,718,137	942,711	10,660,849	―	10,660,849
セグメント利益	3,551,358	413,118	3,964,476	―	3,964,476

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	368,296千円	409,027千円